編　集　後　記

◇朝夕の冷え込みが増し，紅葉が美しい季節となりました．これから年末にかけて，慌ただしい日々を過ごす方も多いのではないでしょうか．オンラインでさまざまな情報を手軽に得られる今，気がつけば机の前に座ったまま一日が過ぎていた，ということもあるかもしれません．そんなときはパソコンを閉じて，季節の景色を眺めに出かけてみてはいかがでしょうか．画面越しでは得られない気づきや感動，そして一期一会の出会いによる楽しい時間が得られるかもしれませんよ．

◇今月号の「とびら」では，日本分析化学会九州支部長の吉田秀幸先生に，生涯分析談話会の意義についてご寄稿いただきました．分析化学分野を長年支えてこられた先生方から，公開情報だけでは得られない，これまでの経験や研究に対する考え方を直接うかがえる貴重な場であることが紹介されています．人と人とが直接交流する場の大切さを，改めて考えさせられる内容でした．

◇「リレーエッセイ」では，Yoshikawa Sci. Lab. の吉川裕泰さんにご執筆いただきました．国内外のさまざまな場で出会った方々との会話やディスカッションを通じて得られる学びや交流の楽しさが語られています．国や地域，専門分野が異なっていても，分析化学を通じて活発で楽しい交流が生まれるというお話は大変印象的でした．今回ご紹介した二つの記事は，人と直接出会うことで得られるものと，その大切さが共通しているように思います．オンラインで手軽に情報を得られる時代だからこそ，人と直接交流する機会をこれからも大切にしていきたいと感じました．〔K. Y.〕

「ぶんせき」次号掲載予定

〈とびら〉

編集作業の効率化について……鈴木 保任

〈入門講座〉 精密な定量解析を支える網羅分析：基礎技術から実践的応用まで

環境網羅分析の標準化に向けて……頭士 泰之

〈解　説〉

CTBT 国際監視制度の観測網による
大気中の放射性核種監視―最近約 15 年間の進展―
……米沢 仲四郎

〈ミニファイル〉 Abbreviations in 分析化学（分析化学で使われる略号）

ケモメトリックスで使われる略号……森田 成昭

〈話　題〉

生痕化石分析による生態系進化の解明……八井田 朱音

◇ 編　集　委　員 ◇

〈委員長〉 鈴木保任（金沢工大バイオ・化学）
〈副委員長〉 山口浩輝（味の素㈱）
〈理　事〉 山口　央（茨城大理）
〈幹　事〉 半田友衣子（埼玉大工）　北牧祐子（産業技術総合研究所）　岡崎琢也（工学院大学先進工）
鹿籠康行（東北大金材研）
〈委　員〉 村山周平（昭和医科大薬）　田原佳代子（九州医療科学大薬）　古野忠秀（愛知学院大薬）
石橋千英（愛媛大院理工）　岡林識起（日大生物資源科学）　原田　誠（東京科学大理）
角田　誠（国際基督教大教養）　宮川晃尚（広島大院先進理工）　稲川有徳（宇都宮大院地域創生科学）
澤田奎太（ライオン㈱）　黒木康生（サーモフィッシャーサイエンティフィック㈱）　宇田亮子（奈良工業高専）
西崎雄三（東洋大食環境科学）　鎗田　孝（茨城大農）　高柳　学（ジーエルサイエンス㈱）
中屋佑紀（北大院工）　大江知行（東北大院薬）　佐藤貴弥（日本電子㈱）
北川慎也（名古屋工業大工）　萩森政頼（武庫川女子大薬）　管原庄吾（島根大学術）
岸川直哉（長崎大院医歯薬学）

R 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので，本誌に掲載された著作物を複写する場合は，学著協より許諾を受けて複写してください．

〒107−0052　東京都港区赤坂 9−6−41　乃木坂ビル 3 階
一般社団法人 学術著作権協会
FAX：03−3475−5619　E-mail：info@jaacc.jp

なお，複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は，学著協では扱っていませんので，直接日本分析化学会へお尋ねください．

ぶんせき　2026 年 第 11 号（通巻 623）
2026 年 11 月 1 日印刷
2026 年 11 月 5 日発行　　定価 1,250 円
編集兼発行人　公益社団法人 日本分析化学会
印 刷 所　〒173−0025　東京都板橋区熊野町 13−11　株式会社 双文社印刷
発 行 所　〒141−0031　東京都品川区西五反田 1−26−2　五反田サンハイツ 304 号　公益社団法人 日本分析化学会
電　話　総務・会員・会計：03−3490−3351　編集：03−3490−3537
FAX：03−3490−3572　振替口座：00110−8−180512

© 2026, The Japan Society for Analytical Chemistry
購読料は会費に含まれています．